

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成29年11月28日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (地表からの効率的な集水井内点検手法に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成29年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当にお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

地表からの効率的な集水井内点検手法に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成30年1月(予定)
担当： 土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター (新潟県妙高市)	～ 平成31年3月
<u>共同研究の目的(必要性)</u> 地すべり等防止法の施行から50年以上が経過し、集水井をはじめとして老朽化した施設が増加。特に集水井については、有毒ガスや酸素欠乏、昇降施設の劣化などの恐れがあり、内部に入るとの点検は容易ではなく、すべての都道府県で十分に点検できているとは言い難い。 そのため、遠隔(地表)からの安全かつ効率的な集水井の点検を可能とする機器の開発が望まれている。安全かつ効率的に集水井の点検を行うためには上記の機器の活用・高度化が有効であるが、遠隔点検による場合の要求スペック(基準)や遠隔点検に適した点検結果の整理方法は定まっていない。そこで、次回以降の遠隔点検結果との比較・整合を図ることができる統一的な遠隔点検結果の整理方法等を提案するとともに、遠隔点検あるいは画像処理に取り組んでいる各社が保有する機器・技術を改良・統合した遠隔点検機器を開発する必要がある。 本共同研究では、遠隔点検に関する要求スペック(基準)の作成、これを満足する点検方法、点検結果整理・分析方法(手引き)の提案、並びにこれら一連の集水井遠隔点検システムの開発を目的とする。	
<u>共同研究の内容</u> (1) 集水井の遠隔点検における要求スペック(基準)の作成 (2) 要求スペックを満足する集水井遠隔点検方法の提案 (3) 次回以降の点検結果と定量的に比較可能な遠隔点検結果整理・分析方法(手引き)の作成 (4) (1)～(3)を満たす一連の集水井遠隔点検システムの開発	

2. 募集期間 **平成29年11月28日(火) から 平成29年12月28日(木) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
一般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 崎谷 和貴 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター(新潟県妙高市) 上席研究員 石田 孝司 研究員 金澤 瑛 電話 0255-72-4131

別 添 - 1

1. 共同研究の名称

地表からの効率的な集水井内点検手法に関する共同研究

2. 共同研究の概要

< 共同研究の目的 >

地すべり等防止法の施行から50年以上が経過し、集水井をはじめとして老朽化した施設が増加。特に集水井については、有毒ガスや酸素欠乏、昇降施設の劣化などの恐れがあり、内部に入っての点検は容易ではなく、すべての都道府県で十分に点検できているとは言い難い。

そのため、遠隔（地表）からの安全かつ効率的な集水井の点検を可能とする機器の開発が望まれている。安全かつ効率的に集水井の点検を行うためには上記の機器の活用・高度化が有効であるが、遠隔点検による場合の要求スペック(基準)や遠隔点検に適した点検結果の整理方法は定まっていない。そこで、次回以降の遠隔点検結果との比較・整合を図ることができる統一的な遠隔点検結果の整理方法等を提案するとともに、遠隔点検あるいは画像処理に取り組んでいる各社が保有する機器・技術を改良・統合した遠隔点検機器を開発する必要がある。

本共同研究では、遠隔点検に関する要求スペック(基準)の作成、これを満足する点検方法、点検結果整理・分析方法（手引き）の提案、並びにこれら一連の集水井遠隔点検システムの開発を目的とする。

< 共同研究の内容（項目） >

- (1) 集水井の遠隔点検における要求スペック（基準）の作成
- (2) 要求スペックを満足する集水井遠隔点検方法の提案
- (3) 次回以降の点検結果と定量的に比較が可能な遠隔点検結果整理・分析方法(手引き)の作成
- (4) (1)～(3)を満たす一連の集水井遠隔点検システムの開発

3. 実施期間 平成30年1月(予定) ～ 平成31年3月

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画	
		土研	共同研究者	29年度	30年度
(1) 集水井の遠隔点検における要求スペック（基準）の作成	・点検項目における要求スペック検討	◎	○	↔	
(2) 要求スペックを満足する集水井遠隔点検方法の提案	・機器の試作	○	◎	↔	↔
	・現地試験	○	◎	↔	↔
(3) 次回以降の点検結果と定量的に比較が可能な遠隔点検結果整理・分析方法(手引き)の作成	・点検方法の検討	○	◎		↔
	・点検結果整理分析方法(手引き)の作成	◎	○		↔
(4) (1)～(3)を満たす一連の集水井遠隔点検システムの開発	・要素技術の組み合わせによるシステム化検討	○	◎		↔

※1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① 国や自治体等公共事業の業務において集水井内部を地表から点検する技術及び実績を有するもの。
- ② 公共事業に関連して、静止画または動画をオルソ化または三次元化する技術及び実績を有するもの。
- ③ 上記①②の条件のいずれかを満たし、本共同研究の遂行のため適切な人員配置が可能であり、かつ必要となる費用を分担できること。

< 参加者数 >

合計1～5社程度を想定。

なお、参画条件②により参加する者は2社以内とする。

< 参加者の選定方法 >

書面審査及びヒアリングを行い、本共同研究の遂行に十分な技術力及び研究・業務実績を有するとともに、円滑な研究の実施と高い成果をあげる可能性が期待できる共同研究者を上位から選定する。

6. その他

- ・ 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式・記載方法等につきましては、土木研究所ホームページ (<http://www.pwri.go.jp/>) に掲載しております。
- ・ 申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。なお、書類審査において、記載事項に誤り、不足等が見つかった場合は、訂正、追加書類の添付等を求める場合があります。
- ・ 本共同研究においては、各者で実施する研究分担部分に係る費用については、各者で負担していただきます。（土木研究所から共同研究者に対し、費用をお支払いすることはできません。）

7. 担当者

土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター（新潟県妙高市）
石田・金澤（TEL：0255-72-4131）